

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : ワシントン州立大学

留学期間 : 平成 27 年 3 月 18 日 ~ 平成 27 年 12 月 28 日

私は約一年間アメリカのワシントン州立大学に留学していました。やはり日本とアメリカでの生活は異なるところが多くあり慣れるまでは人によっては苦勞することもあると思います。私が留学していた大学はアメリカの中でもかなり内陸の方で田舎でしたので、日本料理店は一件もなく日本の食べ物やグッズは基本的に手に入れることができないところでした。

食生活について、学内の食堂で朝昼晩の食事をしていました。私は食べ物に関して全くと言っていいほど苦勞はなく毎日のようにハンバーガーやピザ、パスタを食べても嫌には感じなかったのですが、やはりそこにいた日本人留学生はそのアメリカの食事が嫌になっていました。しかし彼らは日本にいるときから自炊ができるように料理を覚えてきていて自分自身でご飯を作っていました。日本にあってアメリカにない食材もあるのでそういうのも調べといて、アメリカに来てからも自炊ができるようになると食生活で余計なストレスがたまることも減ると思います。

生活・文化の違いは生活のいたるところで感じていました。田舎町というのもあると思いますがスーパーのレジでも道を歩いていても会話をする場面に遭遇することも多いと思います。そこで一番違いを感じたのは学校の授業中です。日本の授業は基本的に受け身になることが多いと思いますが、アメリカの場合は生徒主導で生徒が自ら発言して授業を進めないといけいけません。私はもともと日本でもそんなに授業で発言などはしなかったため、そういう形式の授業に慣れるのに苦勞しました。

しかしその形式の授業に慣れることができてからは積極的になれ自分から発言もすることができて、クラスの友達も作ることができました。また、日本に帰ってきてからもその積極性が身についたのか自分から発言することもできるようになりました。また質問することは恥ずかしさなどもあったけど、そんなこともすでに気にせず授業を進めることができるようになりました。そういう意味では精神面もかなり打たれ強くなったと思います。

アメリカではやはり問題が起きて自分自身でなんとかして対処しないといけいけいが増えます。さらに問題に対処しようとしても日本のように対応してくれないことも少なくありません。その時にどれだけ冷静で落ち着いて考えられるかが重要になると思います。私は留学中に寮や保険のことですこしトラブルになりかけたことがありました。しかし、その時にパニックにならず何をすべきかどうすべきかを落ち着いて考えることによってその場をしのぐことができました。日本ではそもそもあまりトラブルが起こることも少ないですが、アメリカでは多かったためそういう体験を積むことができよかったです。

私は英語のテストの成績が上がったりなどの目に見える成長以外の部分（目に見えない）が身についたように思います。私は大学 3 回生で留学帰国後すぐに就職活動を始めることになり、志望業界は商社系です。商社では英語力だけではなく会話力や人間力も求められると思います。私はこの留

学で得た経験を就職先で活かしていくつもりです。商社となれば取引相手は海外になることも少なくないはずですが、そうならばやはり留学でいっそう磨いた英語を使うことになると思いますが、それ以上に商談などの場面で会話力などが必要となってくるはずですが、私はこの留学で伸ばした会話力が必ずその仕事に役立つと思っています。また、日本と海外との文化の差も少なからず理解できたので、日本から海外に文化などを発信できると思います。

今から留学を考えている方へ。

私は少し準備を怠っていたなと思うことがありました。おそらくたいの人は目標を作ったり、あれをしたいなど考えていると思います。実際に私もいろいろと考えていました。しかし現にそれをどのようにするかなど詳しくは考えていませんでした。その結果、何かやりたいことが見つかってても時間的にできなったりすることができます。そうならないようにあれをしたいこれをしたいと考えるだけでなく、実際に留学期間のすべてをひととおり計画しておくのもいいかと思います。そうすることでどのくらい前に準備する必要があるかなども見えてくると思います。

いろんな方も言っているのですが、本当に恥をかくつもりでどんどん積極的になればそれだけ充実した留学生活を送ることができると思います。私も最初はすこし萎縮していたところはあったのですが、途中から開き直すことにしました。どうせ少しの間しかいないし失敗してもなんとかなると思うとなんでもできる気がしてきました。留学中はほんとうに失敗を恐れずにどんどん挑戦していき、自分の殻を破ってほしいと思います。